

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2016.1.15 No. 251 連絡先 FAX 042-555-1911



MVオスプレイ クラスA事故率倍増 2015年末は3.69!



米海兵隊がMV22 オスプレイを普天間基地に配備した2012年10月当時、10万飛行時間当たりのクラスA事故（重大事故）の発生率は、1.93だから安全だと防衛省も宣伝しました。

それから3年過ぎた2015年12月末、オスプレイの飛行時間は21万4000時間に達し、事故率は3.69と2倍近くに増加していることが琉球新報1月6日付で分かりました。

日本政府などは、事故率は「一般に飛行時間の増加に伴い低減する」などと説明していました。しかし、14年9月末時点でのクラスA事故率は2.12で、配備当初より増え、その後2014年10月にアラビア湾、2015年5月にハワイ、2015年12月にカリフォルニア沖でクラスA事故が発生し、2015年末でクラスA事故率は3.69に達したのです。（写真は横田に展示されたオスプレイ）

MVオスプレイ アフガン配備機 90時間に1件の割合で事故発生

米海軍安全センターが公表した報告書により、2010年～2012年会計年度のアフガニスタンにおける米海兵隊機空機事故（クラスA～D）の詳細が分かりました。

2010～12年米会計年度のアフガニスタンにおける米海兵隊航空機事故(クラスA～D)

MV22 オスプレイは、726.60時間飛行して8件の事故です。約90時間で1件の事故を起こしています。2004年沖縄国際大学に墜落した機種CH53Dは、5630.50時間飛行して6件の事故なので、938時間で1件の事故です。UH1Yは、16017.60時間飛行して1件の事故です。

また、海兵隊の財産目録にオスプレイは250機とあるそうですが723時間の飛行。UH1Yは、150機で1万6千時間を飛行。オスプレイがいかに役立たずで事故多発機か明らかです。

機種	事故件数	飛行時間	1件当たり飛行時間
MV22B	8	723.60	90.45
CH53D	6	5630.50	938.41
CH53E	8	19480.70	2435.08
F18C	2	7675.10	3837.55
AV8B	2	10891.40	5445.70
AH1W	3	29121.10	9707.03
KC130J	2	19809.30	9904.65
EA6B	1	13327.80	13327.80
UH1Y	1	16017.60	16017.60

特殊戦機CV22オスプレイは横田基地にも日本のどこにも来るな!

2016年 横田基地の撤去を求める

毎月第3日曜日座り込み行動

場所：福生市フレンドシップパーク

JR 青梅線 牛浜駅下車

時間：13時30分～15時30分

雨天決行です!

第82回 1月17日

第83回 2月21日

第84回 3月20日

第85回 4月17日(8年目に)

第86回 5月15日

第87回 6月19日

第88回 7月17日

第89回 8月21日

第90回 9月18日(節目)

第91回 10月16日

第92回 11月20日

第93回 12月18日

2015年横田基地飛来機ランキング 横田基地所属機、民間機チャーター便を除く
(No. 251の裏面)

	機種	種別	所属	2015年	2014	2013
1	C-17	大型輸送機	米空軍	248	263	179
2	C-5	大型輸送機	米空軍	137	165	77
3	KC-135	大型空中給油機	米空軍	93	142	82
4	UH-60	汎用ヘリコプター	米陸軍	90	66	47
5	KC-10	大型空中給油機	米空軍	60	138	67
6	T-4	中等練習機	航空自衛隊	53	48	38
7	C-12	連絡機(UC-12含)	米陸軍	32	16	15
8	U-4	連絡輸送機	航空自衛隊	31	36	23
9	MC-130	特殊戦機	米空軍	29	26	25
10	MV-22	特殊戦機	米海兵隊	27	16	—
10	C-40	要人輸送機	米空軍・海軍	27	23	19
12	UC-35	連絡・輸送機	米海兵隊・陸軍	26	37	27
12	F-16	戦闘機	米空軍	26	14	19
14	C-130	輸送機	米空軍・自衛隊	21	17	24
15	C-146	特殊戦機	米海兵隊	18	13	5
16	C-37	要人輸送機	米海兵隊・陸軍	16	11	9

※飛来機をすべて記録できた訳ではありませんので、だいたいの傾向を知る参考にしてください。(ブログ主より)
※特殊戦機が増える傾向にあります。
※2016年は、オスプレイも横田基地も去ってほしいものです。



米地方議会で辺野古新基地反対決議 バークリー市とケンブリッジ市

米西部カリフォルニア州バークリー市議会は2015年9月15日、沖縄県名護市辺野古への米軍新基地建設について沖縄の市民と連帯し、建設に反対する決議を全会一致で可決しました。

米国の地方議会で同新基地建設に対する決議が審議され、可決されるのは初めてでした。

審議資料によると、同市には平和と正義、民主主義社会の構築などを唱えてきた長い歴史があり、同新基地建設に反対することが市の公約・責任を果たすことになるとしています。

米東部マサチューセッツ州ケンブリッジ市議会は2015年12月21日、日米両政府が強行する沖縄県名護市辺野古への米軍新基地建設に反対し、沖縄県民に連帯する決議を可決しました。バークリーの市議会に次いで二つ目です。ケンブリッジの決議では、沖縄県民の多数が非暴力主義的な大規模の集会やデモを実施し、稲嶺進名護市長や翁長雄志県知事を誕生させ、新基地建設反対の民意を示してきたことを紹介しています。

横田基地にキューバ人が侵入 一時すべてのゲートの封鎖や避難指示が

12月26日午後5時ごろ、不審な荷物を持って横田基地内に無許可で侵入したキューバ人の男を治安部隊が拘束しました。男のリュックからはワイヤと固形物が発見されたため、一時全てのゲートを閉鎖し、基地関係者に対し避難指示が出され、サイレンも鳴るなど大変でした。

その後、不審者の所持品は爆発物や危険物ではないことが判明し、午後8時50分、ゲート封鎖は解除され、男の身柄は警視庁に引き渡されました。キューバ人は家族とともにアメリカへの亡命を求めるために横田基地内に侵入したとみられます。警視庁は起訴しなかったようです。